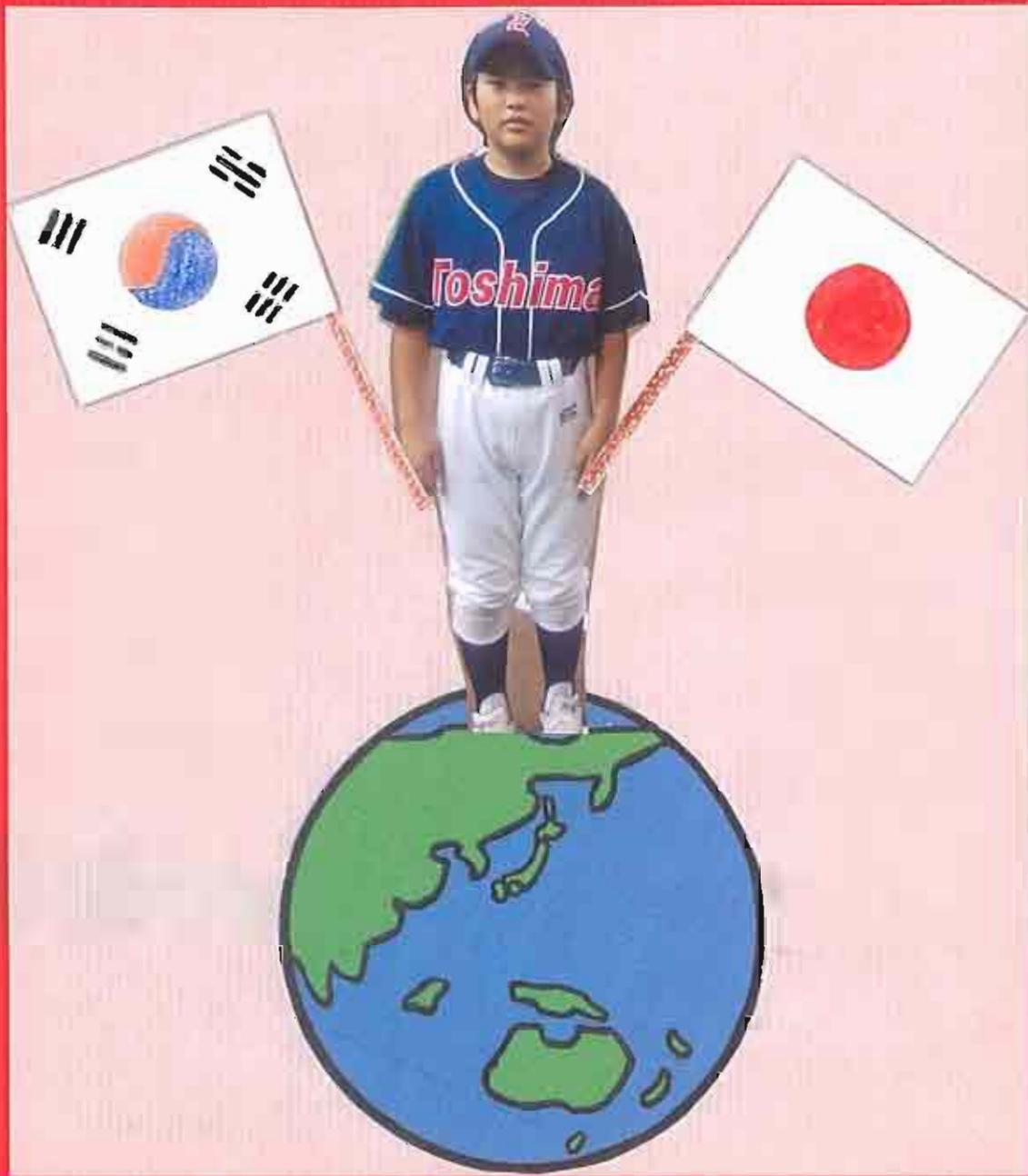


僕にもできる国際交流

〜韓国にホームステイをして学んだこと〜



豊島区立目白小学校

5年1組 船曳 凌真

僕にもできる国際交流

〜韓国にホームステイをして学んだこと〜



(韓国ソウル市東大門区の
青丘小学校との交流試合)

目次

はじめに 2
韓国はこんな国 4
韓国の言葉 8
○ 韓国の歴史 11
儒教の教え 13
朝鮮半島から伝わった物 14
韓国の住宅 16
韓国の食べ物 19
○ 韓国の教育制度 23
韓国で人気のスポーツ 24
韓国にとっての8月15日 25
まとめ 27
参考文献 30

はじめに

僕は、小学1年生の時から、地域のスポーツ少年団の野球チームに所属をして野球を続けています。

僕は、地域のチームの練習だけでなく、この夏は「オール豊島」というチームに参加することになりました。

「オール豊島」は、韓国親善試合のために豊島区の各野球チームのメンバーが集まって構成されるチームです。

なぜ、韓国と親善試合をするのかというと、豊島区と韓国のソウル特別市東大門区(とんどんもんく)は、友好都市協定を結んでい

るからです。2000年から「オール豊島」が韓国の東大門区を訪問し、毎年親善野球大会を行っており、今年で14回目になるそうです。

僕の所属しているチームからも毎年「オール豊島」に参加していて、毎年お土産の韓国のお菓子をもらったり、

韓国遠征の写真を見せてもらったり、韓国の選手の話などを聞いて、ずっと憧れを持っていました。

7月12日、オール豊島の結団式では、豊島区の区長さんや区議会議員さんも参加をして下さいました。豊島区と東大門区の友好だけでなく、日本と韓国の橋渡しをするつもりで、日本の代表という気持ちをもって韓国遠征に行くようにというお話を聞いて、

○僕はなんだかとても大きな使命を背負っているような気分になり、とても誇らしい気持ちになりました。

去年の夏、ちょうど、僕の先輩たちが韓国遠征に行く直前、竹島のニュースが話題になり、僕の先輩が「韓国に行くと日本人が冷たくされたり

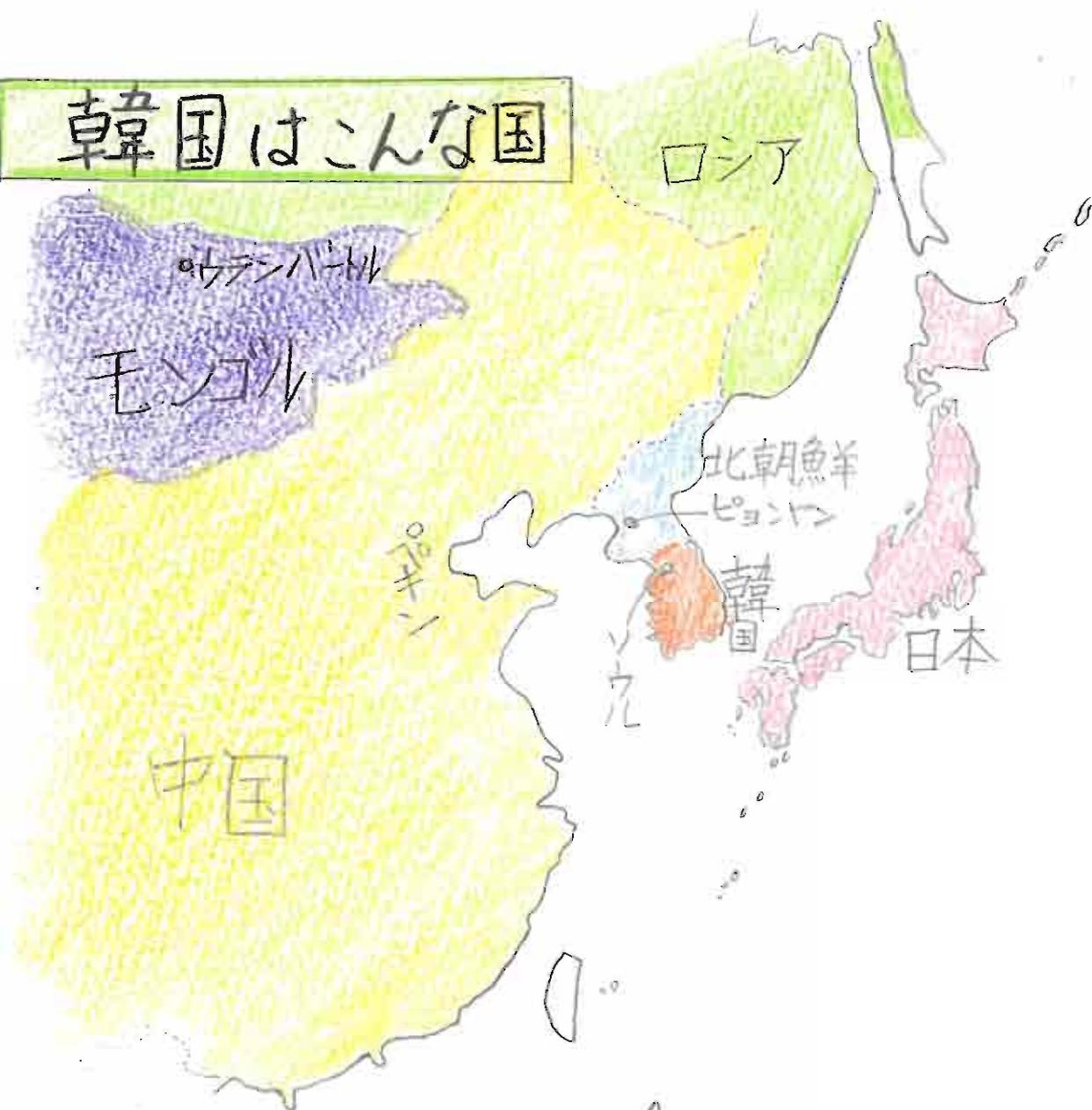
○しないだろうか」ととても心配をしていました。けれども、帰ってきた先輩の話や、韓国ではとても温かい歓待迎をしていただき、ニュースや情報番組で流れているような反日感情はまったく感じられなかと聞きました。

韓国と日本には長い歴史の中で色々なことがあり、政治の上ではとても複雑なものがあるかもしれま

せん。けれども、試合をしたり、小さな文化交流を続けていくことでお互いに分かり合え共に歩み寄ることができると出来ると思います。

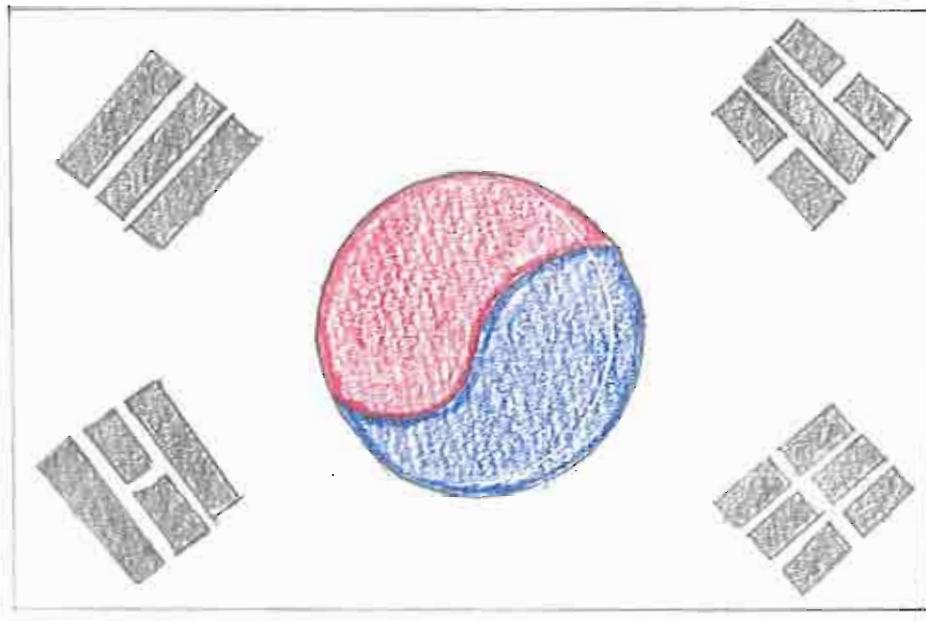
小学5年生の夏、オール豊島に参加して韓国遠征に行くこの機会に、僕は韓国という国についてもっと勉強をして、韓国の人たちと交流を深め、自分なりに国際交流について考え、僕に何が出来るのかを考えてみたいと思います。

韓国はこんな国



韓国は正式名を大韓民国といい、日本のすぐ隣の国です。九州の福岡から韓国の南の玄関、釜山までは約200キロ、対馬からは約60キロ。天気の良い日には、お互いに対岸の風景が見えるほどです。

国旗



首都

ソウル。韓国の4分の1の人が暮らしています。

1988年には、オリンピックが開かれました。

韓国の自然

韓国は、山が多く、三方を海に囲まれた国です。山地は国土の65%を占めますが、日本のような活動中の火山もなく、地震はめったにおこりません。南部から西部にかけて複雑に入り組んだリアス式

韓国の気候

海岸が見られます。

日本と同じように四季の変化がはきりしています。冬は大陸に発達する冷たく乾燥した高気圧の影響を受け、夏は太平洋に発達するしめった温かい高気圧の影響をうけます。日本と同じように6月から7月には梅雨があり、秋には台風が上陸することもあります。しかし、島国の日本とちがって韓国は大陸の一部が海についた半島なので、気候は大陸的で、寒暖の差がはげしいのが特徴です。冬はマイナス10℃より低温になることもあり、夏は35℃をこえることもあります。しかし、日本とちがって、空気は乾いていて蒸し暑くありません。

面積

朝鮮半島は約22万km²で、そのうち韓国は約9.9万km²。日本の北海道と四国をあわせたくらい大きさです。

日本と韓国の時差 時差はなく、日本と同じ時刻。

人口 4445万人

人口密度 1km²あたり447人。(日本は1km²あたり326人)

言葉 ハンゲル言語

政治

立憲民主共和制。元首は大統領で、国民の直接選挙で選ばれ、任期は5年。現在は、2012年2月の大統領選挙で選ばれた、韓国史上初の女性大統領、パク・クネ大統領。議会は一院制で任期は4年。議員定数は299名。国の防衛は陸海空軍があたりています。徴兵制度があり、満20歳以上の男性は最低2年2ヶ月の義務兵役を一度は経験しなくてはならないそうです。

通貨

通貨の単位はウォン。
1ウォンは現在0.09円。



韓国の言葉

韓国では、ハングル文字が使われています。ハングルとは「大なる文字」という意味があります。この文字は、朝鮮王朝時代の第四代の王が1443年につくりあげ、1446年に公布しました。その当時、韓国には固有の文字がなく、漢字を使っていました。しかし、漢字は庶民には複雑で難しすぎたので、誰にでも使える文字としてハングル文字が考案されました。しかし、日本の植民地支配下では日本語を使うことを強制され、母国語を使うことは禁止されていたのです。

日常生活で使うハングル語

日本語	韓国語
こんにちは	안녕하세요 アンニョンハセヨ
はじめまして	처음 뵙겠습니다 チョウンベッケッスムニダ
僕の名前は〇〇です	저는〇〇라고 합니다 チョヌン〇〇ラゴハムニダ
よろしくお願ひします	잘 부탁드립니다 チャップタッカムニダ
ありがとうごさいます	감사합니다 カムサハムニダ
ごめんなさい	미안합니다 ミヤナムニダ
さようなら(相手が行く時)	안녕히 가세요 アンニョンセガセヨ
さようなら(自分が行く時)	안녕히 계세요 アンニョンセゲセヨ

これは何ですか	이것은 무엇입니까 이코스ئم 오슘=카
これは〇〇です	이것은 〇〇입니다 이코스ئم 〇〇라코함=다
いただきます	잘 먹겠습니다 차르 모ッケ스=다
おいしいです	맛있어요 마쉴쑤
大丈夫です	괜찮아요 칸챠나
ごちそうさまでした	잘 먹었습니다 차르 모ッコ스=다
頭が痛いです	머리가 아파요 모리(가)아파
下痢をしています	배탈이 났어요 페츠타) 차
はい	네 예
いいえ	아니요 아=

韓国の歴史

「朝鮮」という名前がはじめて書物にあらわれたのは、紀元前2世紀ごろのことです。中国の歴史書に、朝鮮半島には「古朝鮮」という王朝があったと書かれています。紀元前1世紀ごろ以降、高句麗、百濟、新羅などの三国時代が続きます。7世紀には新羅が統一しました。日本に仏教が伝わったのは百濟からです。その後、10世紀に高麗が国をつくり、14世紀まで続きました。朝鮮でいちばん長く政権が続いたのは、「李氏朝鮮」というときです。14世紀末にできて、500年以上もつづきました。現在のソウルが都でした。李氏朝鮮の4代目国王は、民衆に親しみやすい文字（現在のハングル文字のもと）を作るなど、平和で安定した国にしようとしました。その後、日本の豊臣秀吉や、中国の清という国が攻め込んだことがありましたが、それに抵抗して国を守りました。韓国がいまのように「大韓民国」と呼ば

れるようになったのは1948年のことです。

それ以前は、1910年の韓国併合から35年間、日本が朝鮮半島を植民地としていました。植民地支配下の朝鮮半島では、日本人に土地を奪われる人が増えました。

1930年代になると、日本は侵略を計画していた中国大陸で戦争を始め、朝鮮半島が、その重要な足場となりました。それとともに、朝鮮半島の人々に対するしめつけがきびしくなりました。たとえば、学校では日本語を話すように強制し、韓国の言葉を話すことを禁止したり、氏名を日本名に変えることも強制しました。さらに、1941年に太平洋戦争が始まると多数の人々が日本へ強制連行され、重労働をさせられました。

1945年に日本が太平洋戦争に負けると、朝鮮半島は、日本の植民地支配から解放されました。

それから3年後アメリカと連年の力関係のなかで、北緯38度線を境に、北は朝鮮民主主義人民共和国、南は大韓民国と南北2つの国に分断されました。

儒教の教え

今回僕は韓国の小学生と接して一番印象深かったのは、礼儀正しいことです。また、練習前のグラウンドの整備なども、コーチがグラウンドに到着する前にすべてすませてお迎えをすることにも驚きました。このように、礼儀正しさや目上のかたを敬う姿勢というのは、儒教の教えからきているそうです。

韓国で儒教がさかんになったのは、14世紀末に朝鮮王朝が儒教を奨励してからです。それ以来、政治や社会の人間関係、家族関係にいたるまで、いろいろなところに儒教の教えがしみわたっていきました。おもな内容は、祖先を崇拝すること、年長者を大切に

すること、君臣の礼を守ること、男女の格差をもうけることなどです。

暮らしの中で、儒教の教えが一番よく見られるのは、礼儀作法です。年少者は年長者に対して、言葉づかいや態度など、礼をつくすようにしつけられています。混んでいる電車にお年寄りのかたがいると、すばやく立ち上がって席をゆずります。これは儒教で「長幼の序」といいます。年下の者は年上の者に「へりくだって、孝行をする」という意味です。ホームステイ先の家でも、子ども達はお父さんの言うことは絶対に聞き、ロゴたえることなど一度もなからなかったと思います。

朝鮮半島から伝わったもの

遠い昔から、たくさんの人々が朝鮮半島と日本の間を行き来していました。4世紀ごろから6世紀の中ごろにかけて朝鮮半島から日本へ渡ってきた人々を「渡来人」とよびます。渡来人は、日本に数々

くの文化や技術を運んでくれました。

鉄… 5世紀ごろ、製鉄技術が渡来人によって伝えられました。これにより、じょうぶな製鉄農具や武器が作られるようになりました。

土器… 朝鮮半島から伝わった性能のいい窯のおかげで、それまで日本人が使っていた弥生土器より、ずっとかたくて丈夫な土器を作ることができるようになりました。

漢字… 5世紀に渡来人が漢字を日本に伝えるまでは、日本には文字がありませんでした。

儒教… 中国の孔子が考えた道徳や政治に関する教え、儒教も、渡来人が日本に伝えました。

機織り… 渡来人が「進んだ」はたおり技術を伝えてくれたので、日本でも複雑な織物ができるようになりました。

このように、古くから朝鮮と日本は交流を深めており、朝鮮半島から日本には多くのものがもたらされました。

また、反対に、日本からは、銅、スズのほか、東南アジア産のこしょうなどが輸出されました。タバコ、カボチャ、トマト、トウガラシ、サツマイモなどは、対馬から朝鮮半島に伝えられたものです。今の韓国料理に欠かせないトウガラシは、18世紀になると、キムチに入れられるようになります。

サツマイモはその栽培方法を朝鮮通信使が日本で学び、朝鮮半島に持ち帰ったものです。○
19世紀、たびかとなる飢饉にみまわれた朝鮮半島では、サツマイモによって、多くの人の命が救われたそうです。

韓国の住宅

○
今回、日本からは豊島区の少年野球チームから16人の子どもたちが韓国遠征に参加しました。僕たちは、2人が入らず、交流試合を行った青丘小学校のチームの子供たちの家にホームステイをしました。僕がお世話になった家はシン・ヒョスさんというかたのお宅です。

韓国のかたの名前で一番多いのは「金」さんで、そのほか「李」さん、「朴」さん、「金」さんという苗字が多いそうです。実際に、今回ホストファミリーになって下さった6家族のうち、2家族が「金」さんでした。



僕のお世話になったシンさんのお家は、マンションでした。ソウルの町には、日本と同じような家や、マンションが多く

見られました。韓国の家の特ちょうは、冬になると、床がとても温かくなります。これは「オンドル」といって、昔からある韓国の伝統的な床暖房のことです。昔はオンドルは、かまどの火をたいたときに発生する煙を床下に流してあたたためていましたが、現在は、床下に金属のパイプを埋め込んで、ガスや石油式のボイラーでわかしたお湯をとおしてあたたためているそうです。

韓国が経済開発に乗り出したのは、1960年代ごろです。それから経済成長を続け、首都ソウルは大きな都市に変わっていきました。

1988年には、ソウルオリンピックが開かれ、韓国の経済はますます力をつけていきました。

全人口の4分の1の人たちがソウルに暮らしているので、住む場所が足りなくなりました。そこでソウルをはじめとして、近年発展している地方の都市などでは、高層マンションがどんどん建てられています。

韓国のマンションが高層なのは、せまい土地を有効に使うためですが、この国に地震がないという理由もあります。



韓国のお食べ物

韓国の食べ物といえば代表的なものがキムチです。韓国ではお弁当にはキムチがはっていましたし、食事は毎回キムチが食卓に並んでいました。キムチは古くから韓国で食べられてきた伝統食です。どこの家でもお母さんが作っています。白菜や大根に、塩辛、トウガラシ、ニンニクなど、いろいろな香辛料、果物を入れて発酵させてつくります。キムチは低温で発酵させるので、毎年11月中旬から12月にかけて、一度に大量につくります。



ビビンバ…まぜるご飯という意味の食べ物です。
ご飯の上にひき肉、ぜんまいの水煮、豆
もやし、にんじん、ほうれん草などの野菜
の和え物(ナムル)をのせたご飯。食べる
時にゴチジャンというとうがらし味噌を
入れて、よくかき混ぜて食べます。

ブルコギ…底の浅い鉄なべで、骨なしの牛
ロース肉を焼いた甘口の焼肉料理。



トッポギ…韓国の食餅「トック」を甘辛く炒めて
煮こんだものです。韓国の屋台でよく
売られています。

サムゲタン 丸ごと一羽の鶏肉と、朝鮮人参が入った料理。鶏肉の中には、にんにく、もち米がつめてあって、夏バテ防止によく食べられるそうです。



ジョン、チヂミ、パジョン

煮てつぶしたジャガイモやカボチャに小麦粉をまぶして油で炒めたものをジョンといいます。チヂミはお好み焼のようなものですが、豚肉やニラ、ズッキーニなどを入れて焼いたもので、パジョンはネギがたくさん入っているのが特ちょうです。



食事の時の韓国式 マナー

日本と同じように、韓国でもおはしを使ってご飯を食べます。おはしや食器は、ステンレス製のものが多いです。韓国ではスプーンもよく使います。ご飯やスープはスプーンで食べ、おかずはおはしを使います。

韓国では、お茶碗を手で持つのはおぎょうぎが悪いとされています。おはしでおかずを食べるときも、器を持ち上げるのはおぎょうぎが悪いとされています。

また、女の人が、正装のチョゴリという洋服を着ているときは、片づきを立っていいそうです。



韓国の教育制度

韓国では小学校のことを初等学校といいます。日本と同じように、6歳になると初等学校に入学し、6年通います。日本と違うところは、新学期が3月から始まること、冬休みが長いこと、夏休みを境に前其月と後期の2つに分かれていることです。初等学校を卒業すると、中学校3年、高校3年があり、その上は2年制の専門大学と4年制の大学に分かれ、さらに修士コースがあります。

小学校の授業は、国語、数学、自然、道徳、体育、音楽、美術、社会の8科目が基本となっています。

○ 韓国は世界でもトップクラスで教育熱心な国だと言われています。多くの親が自分の子どもには、大学までさらにその先まで進学させたいと望んでいるそうです。そのために、小学校のころからいろいろな塾や習い事に通っている子どもが多いそうです。

算数、国語、英語の塾やピアノ、バレエ、テコンド

一などの習い事をしている子どもが多そうです。子どもたちは、これらの塾に複数通っていて、放課後は塾や習い事で過ごしているそうです。

韓国で人気のスポーツ

僕たちは、韓国に滞在中、野球の試合が始まる前に時間があつたので、韓国の子どもたちとサッカーをしました。韓国では、サッカー、バスケットボールが人気があるそうです。野球もサッカーほどではないけれど人気があります。プロ野球もあり、現在、2リーグ制で8チームあります。

サッカーのプロチームは「Kリーグ」とよばれ、現在11都市を拠点とする11チームあります。

韓国の伝統的なスポーツにテコンドーというものがあります。テコンドーというのは、空手に似ている格闘技です。手で突いたり足で蹴ったりする競技で、2000年のオリンピックシドニー大会でオリンピックの正式種目になりました。韓国では授業にとりいれている学校もあります。

韓国にとっての8月15日

日本では、8月15日は終戦の日です。毎年テレビ中継で見ますが、甲子園球場では試合を一時中断して、正午になると黙とうをささげるそうです。昨年の8月15日、僕は福岡に旅行をしていて福岡市博物館にいましたが、やはり、正午に鐘が鳴って、皆で黙とうをしました。テレビでも、戦没者追悼式のニュースが流れ、日本では、この日は戦争による犠牲者の慰霊の日となっています。68回目の終戦の日となる今年の8月15日、僕はちょうど韓国にいたのですが、韓国のかた達にとっても、8月15日は特別な日なのだということを知りました。なぜ特別の日かというと、1945年は、日本の植民地支配から解放された独立記念の日だからです。この日は光を取り戻した日、また、失った国権を回復したいという意味で「光復節(クワンボッチョル)」とよばれ、国の祝日となっています。



街のあちこちに 国方旗があり、イベントが開かれていま
した。



この日は、大統領が出席する独立記念館の式典
をはじめ、各地で行事が行われます。実際に、
町を歩くと街のいろいろなところに韓国の国方旗が
掲げられていました。

僕は、8月15日という日を、日本人も韓国人もお互い忘れることなく、日韓両国の歴史をふりかえり、今後、もっと良い関係をつかって、こうという気持ちをもつ日にしたいです。

まとめ

韓国は、距離でいえば日本に最も近い国です。昔から日本に多くの文化を伝えてくれた国でしたが、
○ 豊臣秀吉の侵略や、35年間の日本の植民地支配などによって、日韓両国の人たちの心の中では遠い国になってしまいました。

戦争や植民地などという話を聞いても、僕が生まれるずっと前のことで、遠い昔のことのように
○ 思えますが、当時を経験して、日本人を言午せないと感じている人は韓国には今もなお、たくさんいらっしゃるのです。

今回、僕は韓国で、とてもあたたかく迎えていただき、ホームステイ先でも深い友情をもつて接していただきました。

僕たちは、これから国際交流をする上で、お互

いの国の言葉や文化を学ぶだけではなく、お互いの国の関係やたどってきた歴史をもっと知ることが大切だと思います。歴史を知ったうえで、未来のために、お互いに少しずつ理解を深め、少しずつでも信頼関係を築いていくことが大切だと思います。

僕は、この夏、初めて同世代の外国人と交流をもちました。5日間、韓国の小学生と野球をして、韓国の家庭にホームステイをして、一緒にご飯を食べたり、寝たり、買い物に行ったり、プールで遊びました。この経験を通じて、言葉がちがっても、食べ物や習慣がちがっても、お互いのちがいをわかりあって友達となろうと努力することが大切だと感じました。

これからも韓国でお世話になったホストファミリーのかたや、韓国で一緒に野球をした友達に手紙を書いたりして、交流を続けていきたいです。秋には韓国の子供たちが日本にホームステイに来るそうです。その時は僕の家泊まってほしいです。母に日本のおいしい食事を作ってもらい、日本の食事を食べてもらいたいです。また、東京の観光名所に連れて

行ってあげたいです。

こうした体験をくり返すうちに、お互い「親しみを感じる国」どうしにきつとされるのだと思います。

誰でも、大切な人と争ったり、大切な人が困っているのに知らん顔することなんてできません。こうして、僕たちが経験したような国際交流の輪が少しずつ広がって大きな輪となり、戦争のない平和な世の中、困っている時はお互いに助け合う国際援助力につながるのだと実感しました。



ソウル市東大門区のユドクヨル区長と記念撮影)

参考文献 (豊島区立目白図書館)

- 『アジアの小学生 2 韓国の小学生』
河添恵子著 2011年2月 学研教育出版
- 『きみにもできる国際交流 2 韓国』
西村成雄監修 1999年3月 偕成社
- 『国際理解に役立つ韓国まるごと大百科 3 韓国の子どもものくらし』
佐々木典子監修 2003年4月 ポプラ社
- 『世界各地のくらし 2 韓国のくらし - 日本の子どもたちが見た、もっとも近い国 韓国 -』
岡崎務文・宇真 1995年4月 ポプラ社
- 『国際理解に役立つ韓国まるごと大百科 5 韓国と日本 その歴史』
金川順玉監修 2003年4月 ポプラ社
- 『韓国、朝鮮と出会おう(国際理解ハンドブック)』
ヨコハマハギ「ハッキ」実行委員会編著 1999年
11月 国土社
- 『国際理解に役立つ韓国まるごと大百科 1』

『韓国ってどんな国?』

佐々木 典子監修 2003年4月 ポプラ社

『国際理解に役立つ韓国まるごと大百科 2 韓
国の衣・食・住』

金 順玉監修 2003年4月 ポプラ社